胸上小だより

中学校区一貫教育校園
第１０号

学校目標「心豊かで、自ら考えて行動する児童の育成」
「わかる」「できる」「楽しい」学校をめざして

令和４年２月２２日

コロナの猛威が依然続き、岡山県も２週間のまん延防止等重点措置の延長が決定しました。学校でも、２月の行事をなるべく行いたいと考え延期をしていたのですが、実施方法の変更や中止を視野に入れ、計画を再考しているところです。保護者の皆様には、このような状況にご理解をいただき、また、毎日の子どもたちの健康管理に気を配っていただき本当にありがとうございます。保護者の方々、子どもたち、教職員でこの状況を乗り越えていきたいと思いますので、今後もご協力よろしくお願いいたします。

元気に遊ぶ胸上っ子

考える子　PART1　児童朝会で考えました

今月もオンラインでの児童朝会となりました。今日は、司会が５年生の運営委員、今週のめあての発表は４年生、図書委員と体育委員が委員会のお知らせをします。パソコンルームに行くと５年生・６年生の運営委員と委員会の人が来ていました。下の写真（①と②）は児童朝会が始まる５分前の様子です。６年生の運営委員２人が５年生の運営委員２人へ司会の仕方をアドバイスしていました。「はっきりしゃべること。」「恥ずかしくなったら人がいないつもりで。」１年間の経験からでる言葉ですね。そのアドバイスを聞いて、練習をする５年生。委員会の児童も、自分たちで考えた原稿をきちんと伝えるために、何回も練習をし、友だち同士で「OK！」と確認し合っていました。よりよくするためにどうしたらよいのかを考え、ぎりぎりまで努力をする姿、教え合う姿を嬉しく思います。もちろん、本番も堂々とした態度で児童朝会を行うことができました。

週目標を発表　４年生

①司会をする運営委員

②読み聞かせを伝える図書委

考える子　PART2　図書委員会で考えました

図書委員による読み聞かせ

「胸上っ子のために、胸上小学校のために何ができるのか？」今回は図書委員の取り組みをお伝えします。２月17日（木）、図書委員が各教室で読み聞かせをしました。この活動のめあては、「読み聞かせをとおして、図書館の本を知り読書に親しむことができる」です。どんな本を選んだらよいのか、どのような読み方をすればよいのかを考えて委員会の時間などで練習をしました。ところがコロナ禍のため、対面で読むことができません。そこで、「実物提示装置」でテレビに本を写し、対面にならないように行いました。提示装置での読み聞かせは経験したことがな

かったのですが、急な変更にも関わらず、練習通りに読めました。聞いている子どもたちも、一生懸命に見て、聞いていました。読み聞かせが終わった後は、図書委員の人へ、感想を伝える場面もありました。図書館へ帰ってきた図書委員からは、「うまくいったよ！」と満足の言葉が聞かれたそうです。

考える子　PART3　勉強で考えました

水墨画に挑戦

まずは、６年生。総合的な学習「水墨画に挑戦」です。講師は、本校の教員鶴海先生です。水墨画の描き方の説明を受けた後、お茶道具を見ながら墨で描きました。墨は濃淡で描きます。どのくらいの水を含ませるのか、どこをにじませるのか、どこに影を付けるのか、どのように描いていくのか、考えながら取り組みました。日本の伝統文化を体験した２時間でした。

校長先生九九チャレンジ

次は、２年生です。２年生のとても重要な学習と言えば「九九」。２学期は校内の先生に九九を聞いてもらっていましたが、最後の仕上げは「校長先生九九チャレンジ」です。２月から、休み時間に校長室で九九検定をしています。詰まったりするともう一度となるため、みんな一生懸命です。九九は覚えているつもりでも、使っていないと忘れたり、よく似た音「４（し）」「７（しち）」等を意識しないと間違って覚えたりします。合格できなくても、何回も何回も挑戦してくる子どもたち。あきらめずに粘り強く取り組んでいる姿に感心しました。応援しています。

最後は、胸上タイムでのタブレットを使ったドリル学習です。１２月から体験版を使って試行しています。計算や漢字、応用問題まで単元ごとに分かれており、自主的に学習することができます。解き方が分からなくなったときは、ヒントがでます。また、１ 問ごとに自動採点が行われ、正解になるまで取り組むことができます。授業の隙間時間などに取り組んでいる学年もあり、子ども達は慣れた手つきで問題を解いていました。自分たちで自主的に取り組めるので、担任は、そばに行って説明している間も、他の児童は採点などを待つ必要はなくなります。また、自分の苦手な問題を選んで学習することもできます。つまり、自分に合わせた学習（個別最適な学習）をすることができます。試行は、今年度限りですが、しっかり使っていきたいと考えています。

ドリル学習　挑戦中

思いやり　マスクをいただきました

１２月に、胸上小学校児童が一人暮らしのお年寄りの方にお手紙を書きました。このお手紙をお年寄りの方に渡してくださった「民生委員・児童委員」の方から、小学校へお礼のマスクが届きました。保健室で使っていきます。子どもたちの優しい思いがつながりました。

めざす児童像

思いやりのある子　　考える子　　たくましい子